

静岡県在宅歯科医療推進室からのお知らせ①

「こんな時は^{くち}お口に何か原因があるかもしれません」 ～お父さん最近痩せた！？～

要支援2 80歳 男性

*久しぶりに娘さんが訪ねてきました。夕食の場面。



娘さん 「お父さん、これ嫌いだっけ？」

お父さん 「いや、そんなことはないよ。食べてるよ。」

20分後

娘さん 「あれ？まだ食べ終わらないね。胃の具合でも悪い？」

お父さん 「いや、そんなことはないよ。もういいよ。お茶ちょうだい。」

娘さん 「え？何って言ったの？ごめん、よく聞き取れなかったよ」

お父さん 「お・ち・ゃ！」

娘さん 「あ～お茶ね、はいどうぞ。そういえば、お父さん最近痩せた！？」

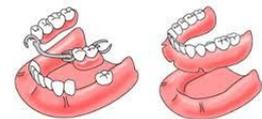
【お父さんの気持ち】

実は、お父さんの**入れ歯**、最近、合っていません。歯ぐきに当たって痛いところがあつてうまく噛めないし、言葉もしゃべりにくい…でも、なかなか人には言いにくいものです。

カバンや靴、メガネ…愛用の道具も長く使っていると、あちこち不具合も出てきますね。

入れ歯も同じ。例えば、体が痩せると、入れ歯が乗っている歯ぐきや、頬っぺも痩せてきます。歯ぐきや頬っぺが痩せると入れ歯はゆるくなり、ひどくなるとパカパカと動いてしまい、食事や会話がしにくくなります。また、老化現象で唾液の量は減ります。入れ歯は唾液で歯ぐきに吸い付くようになっています。唾液が少ないと入れ歯が外れやすくなり、また、入れ歯がこすれて歯ぐきが痛むこともあります。

お父さんは「歯医者は**歯**が痛くなったら行くところ」と思っているかもしれません。ちょっと入れ歯が合わないくらいでは、歯医者に行く気持ちにはならないようです。



【こんな点に注目】

何年か、あるいは何十年も歯科医院に行っていない方が、高齢者に多くいらっしゃいます。そういう場合、歯だけでなく、お口に何らかの不具合が起こっていることが予想されます。ほんの少し入れ歯が合わなくても、噛みにくくなり、食事が十分にとれなくなることもあります。また、**唇や舌、頬っぺなどの筋力**が衰えると、歯がしっかり揃っていても口が開きにくい、噛みにくい、飲み込みにくいといった症状が出てきます。歩ける今だからこそ、歯医者に行ってお口をチェックし、**小さな不具合の内**に対処して貰いましょう。なんともなくても、半年に1度は定期健診のために歯科医院へ。要介護高齢者こそ、歯科受診が必要です。

【ちょっと深刻な話】

寝たきりで外出困難の方などには「訪問歯科診療」が対応します。でも、寝たきりになって初めて、歯がないことが発見され、「食べられない、困った、さあ入れ歯を入れよう！」となっても、何十年も歯医者にかかっていない人が急に歯科治療を受入れることは、なかなか困難です。特に認知症のある方には、そのハードルはぐっと高くなります。**元気づちから、かかりつけ歯科医院を持ち、定期受診していれば安心なのです。**

静岡県在宅歯科医療推進室（静岡県歯科医師会内）

〒422-8006 静岡県静岡市駿河区曲金3丁目3番10号 開室時間）平日 10:00～15:00

TEL)054-202-6480 FAX)054-202-5009 email)zaitaku@s8020.or.jp HP) https://s8020.or.jp/